

駅から街へ、街から駅へ



京日八東丸大有
橋本重京の手楽
橋洲駅内町町

東京エキマチ

Vol. **24**

2019.4.10号

東京駅と街がつながるフリーマガジン



特集 エキマチ

平成史

ぶらり
エキマチ
さんぽ

丸の内





表紙
「上越・東北新幹線東京駅開業」「丸の内駅前広場の完成」など、エキマチエリアでの特徴的なできごとを並べました。
写真提供=共同通信社、日本土地建物、三井不動産、交通新聞クリエイティブ
撮影=中村 宗徳

WEB版東京エキマチも
ぜひご覧ください!

東京エキマチ

検索 🔍



<http://www.tokyostationcity.com/tokyoekimachi/>

Contents 2019年4月10日発行

東京エキマチ Vol.24

営業時間、休み、値段などの情報には変更が生じる場合があります。
年末年始の休みについては各施設・店舗にお問い合わせください。
誌面に表記されている料金は税込価格です。

特集

エキマチ 平成史



- 4 エキマチ平成史
- 11 平成ミニミニ事件簿
- 12 東京駅30年史
- 14 「平成」駅弁物語
- 16 大作からミニシアターまで
映画の街・日比谷&
有楽町の変遷をたどる
- 17 八重洲ブックセンター
本店長・
佐藤広人さんが選ぶ
平成のベストセラ―10冊

連載

- 18 ぶらりエキマチさんぽ
丸の内
- 21 裏エキマチ
待ち合わせスポット(マニア)編
- 27 読者の広場

- 22 駅・街・鉄道 information
- 24 東京駅構内MAP
- 25 便利な無料巡回バス
- 25 都心部路線図
- 26 東京エキマチMAP

読者プレゼント

応募締切◎2019年6月9日必着



(シマウマ) 1918年、個人蔵
Photo: Martin Wissen Photography, Boriken, Germany



東京エキマチ
バックナンバー
※1種類のみ

1 「東京ステーションギャラリー」
「メスキータ」展招待券 5組10名様

さまざまな技法を用いて個性的な版画を数多く制作したオランダのアーティスト、サミュエル・イエスルン・デ・メスキータの全貌を紹介する日本初の展覧会が『東京ステーションギャラリー』にて6月28日～8月18日まで開催。招待券を5組10名様に。

2 東京ステーションシティ
「東京エキマチ」バックナンバー 1冊 5名様

P2掲載のバックナンバー(在庫なしの号を除く)の中から1種類をプレゼント。Vol番号を必ずご記入ください。内容はWEB版東京エキマチで確認できます。
<http://www.tokyostationcity.com/tokyoekimachi/backnumber>

応募要項

- ハガキに 1.お名前(ふりがな) 2.年齢
3.性別 4.ご職業 5.郵便番号とご住所
6.電話番号 7.プレゼント名
8.アンケートの回答を明記の上、郵送してください

送り先

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3-11
NBF御茶ノ水ビル7階
㈱交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部
「東京エキマチVol.24」係

アンケート

- Q1: Vol.24で一番おもしろかった記事・コーナーは?
- Q2: Vol.24をどこで手にとられましたか?
- Q3: 「東京エキマチ」(過去を含む)を読んで、実際に行かれたおすすめのお店・施設を教えてください
- Q4: ご意見・ご感想



スマートフォン、
タブレットからの応募はこちらから

※ご記入いただいた個人情報は「当選者へのプレゼント発送」以外の目的では使用いたしません。またアンケートの内容は「東京エキマチ」内「読者の広場」の誌面作り及び、冊子制作の参考にさせていただきます。※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

Looking back
from
1989 to 2019

エキマチ 平成史

“東京駅周辺=ビジネス街”だけじゃない。多彩な商業施設やイベントが生まれ、今や世界的にも感度の高いエリアへ——。ヨコにもタテにも大きな変貌を遂げた、エキマチエリアの平成を振り返ります。

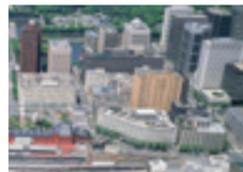


KITTE
(JPタワー)

H25

開業
地下1階から地上6階で構成した商業施設KITTEを含むJPタワーは地上38階建て。旧東京中央郵便局舎を一部保存再生し建築している。(写真提供=KITTE PR事務局)

『オアゾ ショップ&レストラン』の敷地には旧国鉄の本社が立っていた。



H16

オアゾ ショップ&レストラン
(丸の内オアゾ)



都内最大級の書店「丸善 丸の内本店」をはじめビジネスとカルチャーの融合をテーマとしたレストラン&ショップがオープン。(写真提供=三菱地所)

懐しのカフェ

ブリック



東京ステーションギャラリー館内にあった喫茶室で、れんがの雰囲気にマッチした内装と、ブレンドコーヒーが人気を博した。平成18年、同ギャラリーの休館、移転に伴い閉店となった。(写真提供=東京ステーションギャラリー)

窓からは、丸の内・皇居方面をゆったりと眺められた。
壁には、東京駅創建時からのれんが。観光客からも愛された。



昭和6年(1931)に竣工した旧東京中央郵便局の局舎。



6階のKITTE ガーデンは、東京駅や高層ビルの眺望抜群！

丸ビル
(丸の内ビルディング)

H14



建て替え

地上約180m、37階建て複合商業施設として生まれ変わった。平成19年には、新丸ビルも建て替え。



平成3年7月の丸の内ビルディング。(写真提供=三菱地所)



建て替え前の丸の内ビルディングは大正12年(1923)完。

東京国際フォーラム

H9

開業



大小8つのホールや34の会議室、ショップ、レストラン、美術館などで構成される総合文化施設。船形をした巨大なガラス棟がシンボルになっている。(写真提供=東京国際フォーラム)

東京ミレナリオ
(現・東京ミチテラス)

H11

スタート



平成11年冬のイルミネーションイベント「東京ミレナリオ」から、ライトアップが話題に。写真は平成29年冬の東京ミチテラス。(写真提供=PLXTA)

明治の近代化以降、高度成長期にかけてビジネス街として形成された丸の内。平成3年に東京都庁舎が新宿副都心へと移転し、平成7年には旧丸ビルの建て替えを発表すると、平成初期からいち早く再開発に着手した。『丸ビル』、『新丸ビル』、『KITTE』など丸の内を代表する商業複合ビルにはいづれも魅力あるテナントがオープン。週末には閑散としていた丸の内仲通りもブランドストリートへと変貌し、多くの人々が集まる多様性のある街へ姿を変えた。

一方、多くの金融・報道機関が集まる大手町では、区画ごとに移転し、その跡地にまた別の区画が移転する「連鎖型再開発」が行われている。平成21年に大手町合同庁舎跡地に構築された経団連会館などを含む超高層ビル群に始まり、街並が、次々と刷新されている。地下1500mからは温泉が掘削され、大手町タワー敷地内に整備された3600㎡の緑地「大手町の森」など、ゆとりある経済の街に進化している。

丸の内・大手町年表

平成3年(1991)	3月旧都庁舎(丸の内)閉庁
平成5年(1993)	当時の最先端のコンピューターなどを体験できた「IB M情報科学館」が開館
平成9年(1997)	「東京国際フォーラム」開業
平成11年(1999)	冬季の「東京ミレナリオ」以来、冬のイルミネーションが人気に(現・東京ミチテラス)
平成14年(2002)	「丸ビル」(丸の内ビルディング)「建て替え」完成
平成16年(2004)	「オアゾ ショップ&レストラン」(丸の内オアゾ)「開業」
平成18年(2006)	「丸の内 de 打ち水」開催。以降、毎年夏の風物詩として開催場所も増加
平成19年(2007)	「東京ステーションギャラリー」が休館し、「ブリック」も閉店に
平成21年(2009)	東京マラソンを機に「皇居ラン」を楽しむランナーが増加
平成22年(2010)	「新丸ビル」(新丸の内ビルディング)「建て替え」完成
平成23年(2011)	「丸の内朝大学」開講。朝活がブームに
平成24年(2012)	「三菱一 号館美術館」開館。赤れんがの建物は「三菱一 号館」を復元
平成25年(2013)	「丸の内 行幸マルシェ×青空市場」初開催。以降毎週金曜の恒例に
平成26年(2014)	「パレスホテル東京」建て替え・竣工
平成27年(2015)	「東京ステーションホテル」再オープン

H30 開業

日本橋高島屋S.C.新館
(日本橋高島屋三井ビルディング)



地上32階、地下5階、延床面積約14万8,000㎡の日本橋高島屋三井ビルディングには下層部に「日本橋高島屋S.C.新館」(写真中央の本館隣)がオープン。(写真提供=三井不動産)

百貨店として日本初の重要文化財に登録された歴史的価値の高い建物を残しながら、周辺を開発。



H11 閉店

東急百貨店日本橋店
(旧白木屋)



東急百貨店日本橋店跡に誕生した。商業ゾーン・コレド日本橋は「CORE(中心・核)+EDO(江戸)」の造語で「江戸の中心」を意味している。(写真提供=三井不動産)

日本橋

伝統と革新を融合しながら
生まれ変わる日本橋

H16 開業

コレド日本橋
(日本橋一丁目三井ビルディング)

東急百貨店日本橋店跡に誕生した。商業ゾーン・コレド日本橋は「CORE(中心・核)+EDO(江戸)」の造語で「江戸の中心」を意味している。(写真提供=三井不動産)

平成に再建!

福徳神社(芽吹稲荷)

徳川家康も参詣した古社が、平成26年に再建。宝くじやビジネスの新規事業、勝負どきなどにご利益があると崇敬され、多くの参拝客が訪れる。ビルの谷間という立地も目を引く。

江戸時代には魚河岸や商店が並ぶ商業の町として栄えた日本橋エリア。呉服店「白木屋」に始まり336年の歴史を誇った「日本橋東急」が閉店し、跡地に「コレド日本橋」が誕生した。「コレド室町」3棟がこれに続き、老舗の名店が新業態で開店。長い歴史の面影を宿す日本橋ならではの発展をたどっている。また「日本橋桜フェスティバル」「アートアクアリウム展」など、花見や金魚観賞といった伝統文化と先端のデジタルアートを巧みに両立させたイベントも誕生した。日本橋を覆うように走る首都高を地下化する計画も発表されており、令和2年(2020)の東京五輪以降に着手の見込みだ。



日本橋年表	
平成10年(1998)	国内初の「ポケモンセンター」が日本橋に開店。移転を2度行い、現在は「日本橋高島屋S.C.東館」で営業中
平成11年(1999)	「東急百貨店日本橋店(旧白木屋)」閉店
平成16年(2004)	東急百貨店日本橋店跡地に「コレド日本橋(日本橋一丁目三井ビルディング)」開業
平成22年(2010)	「コレド室町(室町東三井ビルディング)」開業
平成23年(2011)	夏の風物詩「アートアクアリウム展」スタート
平成26年(2014)	貞観年間(859~876年)鎮座の古社・福徳神社社殿再建
平成28年(2016)	春の恒例「日本橋桜フェスティバル」スタート
平成29年(2017)	リオ五輪、パラリンピック選手ら87名のメダリストによるパレード、沿道に80万人(銀座~日本橋)
平成30年(2018)	「日本橋高島屋S.C.新館(日本橋高島屋三井ビルディング)」開業

H29 開業

大手町ホトリア
(大手門タワー・JXビルと大手町パークビル、大手町センタービルの3棟で構成)



3棟一帯の街区として命名された「大手町ホトリア」。地下には個性的な飲食店が集まる「よいまち」がある。



大手町近くに位置する約3000㎡の緑豊かなホトリア広場。(写真提供=三菱地所)

H25 開業

OOTEMORI
(大手町タワー)



地上38階建ての高さ約200mの大手町タワーが有する商業ゾーン。(写真提供=東京建物)

H30 開業

二重橋スクエア
(丸の内二重橋ビル)

「本物志向の大人のためのこだわり空間」をテーマに約25店舗が並ぶ。またレストランやパンケット、ウェディング施設を有する東京會館も新本館として平成31年1月に営業を再開した。(写真提供=三菱地所)



平成の流行モノ

皇居ランニング

平成期には、皇居の1周約5kmを走るランナーが日常の光景として定着。エキマチエリアには、シャワーなどを備えたランニングステーションも増加している。

平成25年(2013)	「KITTE丸の内(JPタワー)」開業
平成28年(2016)	「OOTEMORI(大手町タワー)」第1期開業
平成29年(2017)	「大手町ホトリア」(大手門タワー・JXビルと大手町パークビル、大手町センタービルの3棟で構成)開業
平成30年(2018)	「二重橋スクエア(丸の内二重橋ビル)」開業

【地図物件の見方】 赤文字=写真付きで紹介した現存する物件 茶色文字=現在なくなっている物件 黒太文字=年表のみで記載の物件(P7・9・10も同様です)

有楽町

時代を作り続ける
新旧の文化交流施設

スタート

H11

有楽町ウインター
イルミネーション



駅周辺の開発に伴い、エリア一帯の植え込みなどが華やかに彩られる。写真は、交通会館がツリーやショートケーキを思わせるような、幻想的なイルミネーションやライトアップが施された様子。

スタート

H15

日比谷公園ガーデニングショー



日比谷公園開園100周年を記念して、ガーデニングや花と緑のまづくりをテーマにしたイベントを開催。今では、日本を代表するガーデニングや緑化のイベントとして定着し、楽しまれている。

女性ファッションがメインのデパートだが、ナタデココやエッグタルトなど、1990年代のスイーツ流行発信地としても著名だった。

開店

H13

ビックカメラ
有楽町店



地下2階から地上7階までがビックカメラ店舗。7階によりうりホール、最上階に角川シネマ有楽町が入居。(写真提供=ビックカメラ)

閉店

H12

そごう東京店



9月24日、44年の歴史に幕を閉じた。シャッターが降りるまで頭を下げ続けた従業員達の姿があった。(写真提供=共同通信社)

閉店

H28

プランタン
銀座



スタート

H27

東京クリスマスマーケット



オーナメントなどのクリスマス雑貨やお菓子を販売するヨーロッパの祭りが日比谷公園に上陸、恒例のイベントに。(写真提供=PIXTA)

開業

H30

東京ミッドタウン日比谷
(日比谷三井タワー)



オフィスや商業施設、映画館などで構成する大規模複合施設。開業時には女優の宮崎あおいがゲストとして招かれ、華やかにテープカットが行われた。

改装

H30

日比谷シャンテ



30周年を機にリニューアル。ゴジラ像も新しくなり、広場は「日比谷ゴジラスクエア」に。(写真提供=東宝)



開発前には、新ビルにも面影を残す昭和5年(1930)竣工の三信ビルディング(右)の他、昭和35年(1960)竣工の日比谷三井ビル(左)が立っていた。(写真提供=三井不動産)



劇場や映画館、音楽堂など文化施設が点在する有楽町・日比谷エリア。「帝国劇場」では10代にも人気の俳優による定期公演がスタートし、若い世代の来場を促している。また、長く愛された日劇ブランドが看板を下ろした平成30年、「TOHOシネマズ 日比谷」を擁して「東京ミッドタウン日比谷」が開業。新旧交代を印象付けた。流行歌「有楽町で逢いましょう」で親しまれた「そごう東京店」の閉店セーラーは、皮肉にも1週間延長するほどの大盛況に。跡地に開業した「ビックカメラ」にはマイケル・ジャクソンがお忍び訪店し話題を呼んだ。平成12年前後からは「東京交通会館」やその周辺にアンテナショップが続々出店。ご当地グルメブームと相まって注目を集めるように。

有楽町年表

- 平成2年(1990) 有楽フードセンターが全面リニューアルし、「銀座インズ(1・2・3)」として新装オープン
- 平成6年(1994) 沖縄県のアンテナショップ「銀座わしたショップ本店」開店。以降、銀座1丁目・有楽町エリアに各県などのアンテナショップが次々オープン
- 平成10年(1998) 期間限定で「TAKARAZUKA 1000days劇場」が閉館(平成12年12月に閉館)閉館後は「インフオス有楽町」として、家電量販店や無印良品の旗艦店平成30年閉店などが入居
- 平成11年(1999) 「有楽町ウインターイルミネーション」スタート
- 平成12年(2000) 「そごう東京店(読売会館)」閉店
- 平成13年(2001) 「そごう東京店跡(読売会館)」に「ビックカメラ有楽町店」オープン
- 平成15年(2003) 日比谷公園で「日比谷公園ガーデニングショー」初開催
- 平成17年(2005) クラシック音楽イベント「ラ・フォル・ジュルネTOKYO」初開催
- 平成19年(2007) 「有楽町イトシア」開業
- 平成20年(2008) リーマン・ショック後の「派遣切り」で行き場を失った人々を支援するため「年越し派遣村」を日比谷公園に設置(翌年1月5日まで)
- 平成23年(2011) 「有楽町阪急」をリニューアルした、「阪急MENS TOKYO」開業
- 平成25年(2013) 「西武有楽町店跡」に、「ルミネ有楽町」開業
- 平成27年(2015) 「日比谷公園大音楽堂」開設90周年
- 平成28年(2016) 「日比谷公園」で「東京クリスマスマーケット」初開催
- 平成28年(2016) 「プランタン銀座」が閉店。翌年3月に「マロニエゲート銀座2・3」として新装開業
- 平成30年(2018) 「有楽町マリオン」内の「TOHOシネマズ日劇」閉館

アンテナショップの先駆け

銀座わしたショップ本店

沖縄県のアンテナショップが平成6年に開店。この頃からエキマチエリア内には各地から約30以上の出店が続き、中でも有楽町駅前の交通会館には北海道や大阪、徳島・香川など多くのショップが集結。銀座1丁目～有楽町エリアはアンテナショップの一大集積地。(写真提供=銀座わしたショップ本店)



八重洲

元号改定以降の大改革を
控えるエリア

平成中盤に東京駅八重洲口隣接のツインタワー『グラントウキョウ』、『グランルーフ』が相次いで開業。また八重洲仲通りには、多彩な飲食店が軒を連ねる『八重仲ダイニング』がオープンした。平成30年には大型開発に着手。令和4年(2022)には、ブルガリホテルや小学校などが同居する超高層ビルが誕生する予定だ。

八重洲年表

平成9年 (1997)	山一証券廃業。旧八重洲本社前(現・みずほ証券本店営業部)の株価ボードは現在も著名
平成16年 (2004)	東京駅八重洲口〜日本橋を結ぶ無料巡回バス「メトロリンク日本橋」開業
平成19年 (2007)	東京駅八重洲口にツインタワーの『グラントウキョウ』完成
平成23年 (2011)	イルミネーション「TOKYO ILLUMINIA」開催スタート
平成25年 (2013)	『八重仲ダイニング』(東京建物八重洲ビル)開業
平成30年 (2018)	東京駅八重洲口に「グランルーフ」完成
令和4年(2022)完成予定	八重洲口の大型開発着手。超高層ビルに小学校が入居するなど話題に

再開発着工前には東京建物グループのオフィスが入居していた。(写真提供=東京建物)



八重仲ダイニング (東京建物八重洲ビル)

H23

開業



地下2階、地上11階建ての複合ビル。地下の2フロアには厳選された飲食店10店舗が入居。

開業

グランルーフ

H25



「光の帆」がモチーフの長さ約230mの大屋根が印象的なデザイン。アーキテクトは、世界的建築家ヘルムート・ヤーンによる。写真は開業前の様子。(写真提供=ジェイアール東日本ビルディング)



京橋

平成後期、商業施設ビル
2棟が立て続けに誕生

これまで主だった大型施設がなかった京橋に大きな変化が表れたのは平成後期。平成25年に緑あふれる『東京スクエアガーデン』、28年には開放的なガレリア空間のある『京橋エドグラン』が開業。平成27年から休館中の『プリヂストン美術館』が入居する『ミュージアムタワー京橋』は、新元号元年となる今年7月に竣工予定だ。

開業

東京スクエアガーデン H25

低層部には高さ約30m、広さ約3,000㎡の自然豊かな「京橋の丘」が広がっている。(写真提供=東京建物)



開発前には片倉工業の旧本社ビル、東京大栄ビルなどがあった。

開業

京橋エドグラン

H28



中央区有形文化財の明治屋京橋ビル(右)の一部を昭和8年(1933)創建当初のまま保存・改修。新築した再開発棟と2棟で構成。写真提供=日本土地建物

京橋年表

平成7年 (1995)	「東京国立近代美術館フィルムセンター」(現・国立映画アーカイブ)「リニキュアル」開業
平成10年 (1998)	第1回「日本橋・京橋美術骨董まつり」(現・東京アートアンティーク)開催
平成25年 (2013)	『東京スクエアガーデン』開業
平成27年 (2015)	『プリヂストン美術館』が再開発のため休館(令和2年再開予定)
平成28年 (2016)	『京橋エドグラン』開業
平成29年 (2017)	「京橋盆踊り」約50年ぶりに復活

懐かしの店

京橋ドンピエール



数多くのメディアに取り上げられたフレンチ洋食店。看板メニューのビーフカレーは料理雑誌の東京NO.1にも輝いた。平成25年に閉店。その伝統は「レストラン ドンピエール 銀座本店」に引き継がれている。(写真提供=レストラン ドンピエール 銀座本店)

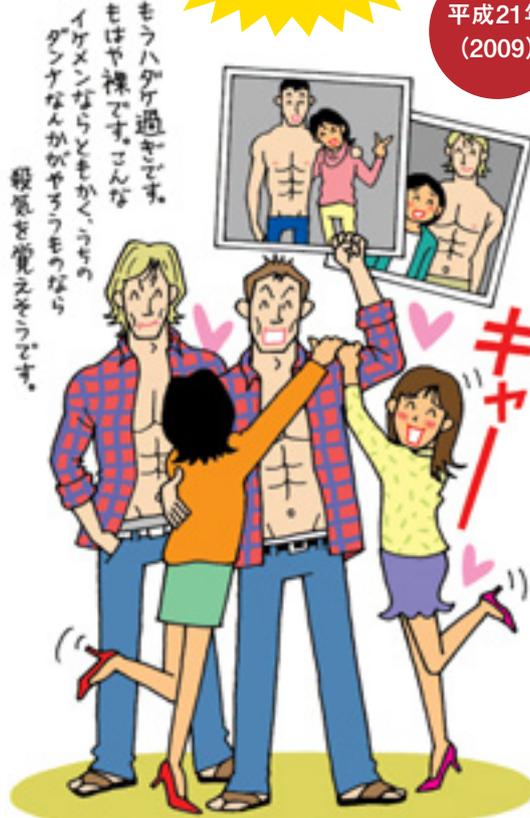
平成ミニミニ事件簿

エキマチを騒がせた！

時代が大きく移り変わった平成史の片隅で、人々を驚かせ、時に笑顔にさせた出来事がありました。あなたも覚えているかもしれない、あの事件をプレイバック！

アバクロ
アジア1号店が
色んな意味で注目

平成21年
(2009)



銀座に上陸した「アバクロンビー&フィッチ」の旗艦店で、半裸でマッチョな男性店員が客を出迎える&ポラ撮影という独特なサービスが。店内に満ちた香水の匂いも強烈だったとか。

皇居のお堀に
外国人が
裸で飛び込み

平成20年
(2008)

なぜに全裸？なぜお堀にダイブ？謎深き事件である。それにしても、つくづく、お堀りさんご苦労さまでした。



石垣をよじ登るなど、警察との壮絶(?)な追走劇の末に取り押された。飛び込んだ理由は、お堀に落とした荷物を拾うためだった……。

皇居お堀への
カルガモ
お引っ越し

～平成25年
(～2013)



三井物産本社敷地内の人工池から皇居のお堀へお引っ越しするカルガモ親子の姿が風物詩に。人工池が平成25年に閉鎖されるまで、その姿が見られた。

日本橋三越本店で
超高額の福袋販売

平成2年
(1990)



福袋のお値段は、西暦に合わせなんと1億9900万円！ 中身は千支の黄金の馬、5.51カラットのダイヤのリングなど6点。買った人はいたのだろうか。

平成28年
(2016)

オリンピック
パラリンピック
凱旋パレード
(銀座～日本橋)



リオデジャネイロ五輪とパラリンピックの選手らによるパレードが銀座から日本橋にかけて行われ、約80万人が詰め掛けた。

東京駅30年史

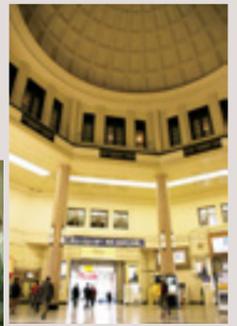
自動改札機の導入、新幹線の開業ラッシュ、そして生まれ変わった丸の内駅舎……。平成の歳月とともに様変わりした東京駅の移り変わりを、写真で追っていきましょう！

御影石の美しい白さが映える丸の内駅前広場が完成！
⑨



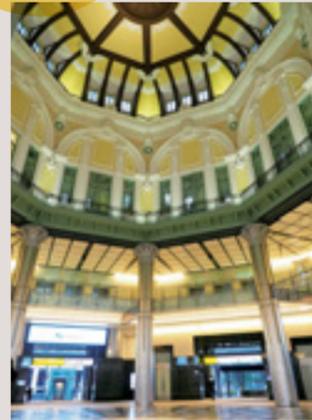
赤レンガの駅舎や行幸通りとの一体性を重視したという格調高いデザインは高く評価され、平成30年にグッドデザイン金賞を受賞した。

復原前(平成18年当時)



大正3年(1914)に開業した日本の玄関口は、開業100年を迎えるのを機に当時の姿へ。国指定重要文化財として人々の往來を見守り続けている。

創建当時の姿に復原された丸の内駅舎南北のドーム
⑧



復原後(平成31年現在)

東京駅に商業施設が續々誕生！魅惑のショッピングタウンに
⑤



新幹線・他路線へ乗り換えの際に立ち寄れるお買い物エリアや、改札内最大のショッピングスポットが登場。駅ナカでワクワクに出会えるように。



京葉ストリート(現 エキュート京葉ストリート)⑦



エキュート東京⑥

平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成24年	平成23年	平成22年	平成19年	平成15年	平成13年	平成11年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年	平成4年	平成3年	平成2年	平成元年						
12月	3月	3月	12月	10月	3月	3月	10月	5月	11月	3月	10月	3月	4月	7月	10月	8月	7月	6月	3月	4月	3月	2月		
丸の内駅前広場完成⑨	北海道新幹線開業	上野東京ライン開業	北陸新幹線開業	東京駅開業100周年	丸の内駅舎保存・復原工事完成⑧	京葉ストリート開業⑦	エキュート東京開業⑥	グランスタ開業⑤	非接触式ICカードシステム「Suica」のサービス開始	新幹線改札口に自動改札機導入	長野新幹線開業④	秋田新幹線開業③	丸の内中央口に赤レンガポストを設置	中央線高架ホーム完成	きんさんぎんさん	第一回鉄道の日(一日駅長)	重洲地下中央改札口付近に移設に伴い、八重洲中央改札前より八重洲地下中央改札口付近に移設	「銀の鈴」長野新幹線乗入れ	山形新幹線開業②	新型特急「成田エクスプレス」デビュー	東北・上越新幹線東京駅開業①	東京駅に自動改札システムを導入	京葉線東京-蘇我間、全線開通	東海道線に2階建てグリーン車登場

次々と誕生する新幹線！日本がどんどん近くなった



山形新幹線開業②



東北・上越新幹線東京駅開業①



長野新幹線開業④



秋田新幹線開業③

平成元年から10年の間に、実に4線もの新幹線が開業した。いまや東京駅から乗り換えなしで行ける都道府県は30を超えるという。

東京駅を取り巻く高層ビルたち



平成19年10月に完成したグラントウキョウサウスタワー(右)とグラントウキョウノスタワー(左)



平成19年3月に完成したサピアタワー(平成18年当時)

オフィスやホテルなどが入った複合ビルが次々に誕生。ビジネスエリアとして、周辺観光に便利な場所として発展してきた。

平成時代に「東京駅の顔」になったお菓子

東京駅構内の売れ筋おみやげランキングの上位5位に、毎年3品目が必ずといっていいほどランクインしている「東京ばな奈」。このお菓子が東京駅に登場したのは、平成4年12月のこと。当時は期間限定の催事販売で、その後、不定期に販売を続けて実績を作ったところで平成9年12月、キオスクでの委託販売を開始。ここに至って東京駅で毎日買えるようになったというから、平成の始まりとともに少しずつ「東京駅の顔」になっていったと言えるだろう。ちなみに、常設店が開店したのはさらに後の平成17年である。現在、第1号の東京ばな奈『見つけたっ』をはじめ、15の商品が新幹線が停車する駅や羽田空港などで売られているが、やはり1、2を争う売れ行きなのは東京駅なのだという。



第1号商品「東京ばな奈『見つけたっ』」。

平成30年10月発売のシリーズ最新作「東京ばな奈ラッコ コーヒー牛乳味」。

みんなが東京駅で買った
あの味、この味

平成

駅弁物語

東京の玄関である東京駅には、日本各地の駅弁が集います。激動の平成、駅弁も世の中のトレンドや技術革新を取り入れ変化していきました。平成にはどのような駅弁が楽しめたのか、日本鉄道構内営業中央会事務局長・沼本忠次さんにお話を伺いました。



ロングセラー 駅弁を生んだ昭和時代

駅弁は鉄道と二人三脚ですから、鉄道網の広がりとともに駅弁もそのスタイルが変わっていきます。昭和30年代、電化区間や特急の本数が増え、旅行する人も多くなり、土地ごとに駅弁が発売されるようになります。シウマイ弁当(昭和29年発売/横浜・崎陽軒)、峠の釜めし(昭和33年発売/横川・おぎのや)などが有名ですね。この頃は、味はもちろん、おなかを満たすことも大事でしたが、駅周辺や構内には他に店もないから、選択肢も限られていました。

今でこそ、東京駅では全国の名物駅弁が売られていますが、実は「東京駅の駅弁」というのはそれほど多くありません。東京は起点の駅であって、旅に出るとなれば沿線のおいしいものを食べたいですから、駅弁を買うなら旅先になるわけですね。東京の駅弁として歴史が長いものでは、チキン弁当①、深川めし②に根強い人気があります。

味も形も食べ方も、より多彩になってきた

平成になると、コンビニや駅構内の店も増えて、車内で食べるものもいろいろ選べるようになってきます。そこで付加価値がある、グレードアップした駅弁が出てくるようになりました。旬の食材や地元の名産品を使ったもの、温められるもの、容器にひと工夫あって保存しなくなるものなどです。

鉄道の話としては、山形、秋田、九州、北陸、北海道と、多くの新幹線が開業して、列車がスピードアップしました。それらの新幹線の起点となる東京駅では、大人の休日弁当④、東京弁当⑤、30品目バランス

弁当⑥など、東京の老舗の味を生かしたもののや、健康志向の駅弁が発売され、ヒットしました。

一方で、乗車時間が短くなったため、駅弁は車内で食べるだけでなく、おみやげとして家に持ち帰ったり、会社で会議用の弁当にしたりと、車外での需要も広がってきています。

全国的な傾向としては、平成は牛肉どまん中③など肉系のもが増えました。肉はやはり温かい方がいいですね。その流れで、神戸・淡路屋のあっちっち弁当シリーズ⑦が注目を集めます。石灰と水の化学反応で蒸気と熱を発生させ、ほかほかな弁当が食べられるのは画期的でした。

コラボ、共同開発といった「企画もの」も、多く発売されました。アニメ『新世紀エヴァンゲリオン』とのコラボ新幹線が運行されたのに合わせて、車両をイメージした「新幹線・エヴァンゲリオンプロジェクト弁当」(神戸・淡路屋/販売終了)や、女子高生との共同開発で注目された「百々(もも)」(横浜・崎陽軒/販売終了)などです。また、製造元が廃業してしまった駅弁を復活させた「松山名物 醤油めし」など、昔の味を引き継ぐ試みもあります。

最近では、外国人旅行者も意識した駅弁にも力を入れています。例えば、菜食弁当⑧、三元豚とんかつ弁当⑨といった、肉や野菜系のものが人気です。

駅弁は、味、彩り、容器などバラエティーに富み、しかも衛生管理がしっかりした安心安全な弁当です。東京駅構内にある「駅弁屋 祭」には日本各地から名物駅弁が集まり、現在、毎日150〜200種類を販売しています。さまざまな土地の味を、「エキマチ」で堪能してください。



平成24年(2012)から販売開始



平成16年(2004)から販売開始



平成14年(2002)から販売開始



昭和39年(1964)から販売開始

神戸のあっちっちステーキ弁当 1350円/淡路屋
ひもを引き抜いて数分待てば、柔らかいステーキの出来上がり。すき焼き弁当などもある。※写真は平成24年のもの

30品目バランス弁当 950円/日本ばし大増
煮物、揚げ物、焼き物など、魚・肉・野菜がバランス良く30品目入ったヘルシー志向の弁当。※写真は平成19年のもの

東京弁当 1680円/日本ばし大増
東京駅限定。浅草今半、日本ばし大増、魚久など、東京の老舗の味が詰まっている。※写真は平成19年のもの

チキン弁当/900円/日本ばし大増
東海道新幹線の開通時に発売。トマト風味ライスと鶏の唐揚げの組み合わせが絶品。※写真は平成29年10月に発売された復刻版



平成30年(2018)から販売開始



平成29年(2017)から販売開始



平成13年(2001)から販売開始



平成5年(1993)から販売開始



昭和62年(1987)から販売開始

三元豚とんかつ弁当 1080円/日本ばし大増
ジューシーで肉厚なトンカツと、ポテトサラダが入るシンプルかつ王道の一品。※写真は平成30年のもの

菜食弁当 930円/日本ばし大増
肉や魚、乳製品、卵などの動物性食材を使用しておらず、NGOによる「ヴィーガン認定」を受けた弁当。※写真は平成29年のもの

大人の休日弁当 2000円/日本ばし大増
季節ごとにメニューが変わる懐石弁当。風呂敷で包まれ、2段重ねで、彩りも美しい。※写真は平成30年のもの

牛肉どまん中 1250円/新幹屋
米は山形県産「どまんなか」。その上に牛そばろと牛肉煮が載る。山形新幹線開業の翌年に販売開始。※写真は平成31年のもの

深川めし 900円/日本ばし大増
うま味たっぷりの深川煮と煮穴子が茶飯に載る。小なす漬けも良いアクセントに。※写真は平成29年10月に発売された復刻版

※値段は2019年現在のもの

ビジネス街・八重洲で売れた本と変化とは？

八重洲
ブックセンター
本店長・
佐藤広人さんが選ぶ
平成の
ベストセラー10冊

ビジネス
パーソンの
知恵袋

MAP P26 B-2



- 平成3年 (1991) ①『**Santa Fe**』(宮沢りえ・篠山紀信/朝日出版社)が全国的に大反響を呼ぶ。入荷しても次々と売れ、仕入れに苦心した。
- 平成4年 (1992) 西原理恵子さんのサイン会(漫画家として初)を開催。行列が絶えず、閉店時間をとうに過ぎた24時3分まで続く。
- 平成6年 (1994) 前年発行の②『**リエンジニアリング革命**』(M・ハマー他/日本経済新聞出版社)がヒット。バブル崩壊を受け、業務プロセスを根本からつくり直す手法に注目が集まった。
- 平成8年 (1996) 紙の出版物販売金額がピークへ。以後、右肩下がりに。
- 平成10年 (1998) 文春新書創刊。以後、集英社新書、宝島社新書(1999)、光文社新書(2001)、新潮新書(2003)などの創刊が続き、第3次新書ブームに。
- 平成11年 (1999) ③『**日本語練習帳**』(大野晋/岩波書店)が八重洲本店で年間売上冊数1位に。平成の間に学術系新書の年間1位はこの本のみ。
- 平成13年 (2001) 1984年にアメリカで出版されたビジネス小説④『**ザ・ゴール**』(エリヤフ・M・ゴールドラット/ダイヤモンド社)の邦訳書が話題に。国際競争力が高かった執筆時の日本には翻訳が許可されていなかった。
- 平成13年 (2001) 『Olive』8月号のバンダナから雑誌の付録ブーム始まる。
- 平成14年 (2002) スターツ出版がケータイ小説を刊行。
- 平成15年 (2003) ⑤『**バカの壁**』(養老孟司/新潮新書)が読書習慣のない人も取り込んで大に売れる。翌2004年も店頭販売部数1位に。
- 平成16年 (2004) 第1回本屋大賞開催。
- 平成17年 (2005) 個人情報保護法の全面施行に伴い、⑥『**これだけは知っておきたい個人情報保護**』(岡村久道、鈴木正朝/日本経済新聞出版社)に法人顧客からの注文が100冊単位で殺到。
- 平成20年 (2008) ⑦『**生声 CD 付き [対訳] オバマ演説集**』(朝日出版社)が話題を呼び、ビジネス書担当者へのメディア取材が相次ぐ。
- 平成21年 (2009) ⑧『**IQ84**』(村上春樹/新潮社)BOOK1・2を多めに仕入れていたにもかかわらず、初回入荷分を数日で完売。各書店で取り合いになる。
- 平成22年 (2010) ⑨『**もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら**』(岩崎夏海/ダイヤモンド社)がベストセラーに。原典のエッセンシャル版『マネジメント』(ドラッカー/ダイヤモンド社)の店頭販売数も伸び、年間ベスト10入りした。
- 平成22年 (2010) アップルが「iPad」発売。「電子書籍元年」と呼ばれる。
- 平成26年 (2014) 前年発行の⑩『**嫌われる勇気**』(岸見一郎他/ダイヤモンド社)は、心理学をテーマにしながらビジネスで使えるとの評判で、ヒット作に。

昭和53年(1978)、鹿島建設の中興の祖、鹿島守之助の発案で旧本社ビル跡地に開業した「八重洲ブックセンター」。1300坪というフロア面積は当時の書店としては日本最大規模で、上場企業の本社が周囲に多数立つビジネス街のど真ん中という立地から、多くのビジネスパーソンに愛された。

平成を迎え、「失われた10年」がやって来ても、不況時代の新しい生き方を模索する人たちが救いを求め、ビジネス書売り場はいつも活況。やがて再開発で周囲に商業施設ができてくると、来店する人の層もバラエティー豊かに。「当初、日曜は休業でしたが、休業日は元日だけが当たり前になりました」と語る本店長の佐藤広人さん(社歴30年)に、平成の10冊を選んでいただいた。



①



④



⑥



⑦



⑩

映画街・日比谷&有楽町の平成カルチャー史!

大作から
ミニシアターまで
映画の街・
日比谷&有楽町
の変遷を
たどる

シネコンの
登場で一変!

「映画館が洋画をロードショー公開していた昭和の時代、日比谷・有楽町の映画街は日本映画文化の中心地でした」と語るのは、東宝の元興行担当役員の高橋昌治さん。当時、大作映画はこの地の映画館で上映後、地方へ広がっていった。ところが平成に入ってシネマコンプレックスが普及し、映画は全国一律で公開されることになった。オンリーワンだった日比谷・有楽町はワン・ノブ・ゼムとなり、新作をいち早く観たいと訪れていた人たちの行列は姿を消した。

「とはいえ、独立系の名画を単館上映するミニシアターの文化が根付いたのも平成という時代なのです。時代は変化しても、映画街で映画を観るという文化は、消えることはないでしょう。今、日比谷&有楽町は映画館の集積で日本一の興行の街です」(高橋さん)

昭和7年 (1932) 東宝が有楽町に本社を設立。有楽座などの封切館でロードショー上映を行う。

昭和29年 (1954) 『ゴジラ』第1作で、旧日本劇場(日劇)が初代ゴジラの尻尾に襲われる。

昭和59年 (1984) 日劇、丸の内ピカデリー、朝日新聞東京本社跡地に『有楽町マリオン』が竣工。12月公開の『ゴジラ』第16作目で、壁が破壊される。

昭和62年 (1987) 日比谷映画劇場、有楽座跡地に東宝日比谷ビル(日比谷シャンテ)竣工。

昭和63年 (1988) 『ベルリン・天使の詩』公開。

平成5年 (1993) 日本初の本格的マルチプレックス「ワーナー・マイカル・シネマズ海老名」が開館。この頃、日比谷・有楽町エリアの映画館は約16館。

平成9年 (1997) 『もののけ姫』公開。配給収入113億円の新記録(※)『タイタニック』公開。配給収入160億円で、現在でも洋画1位、歴代2位。

平成11年 (2001) シリーズ16年ぶりの新作『スター・ウォーズ エピソード1/ファントム・メナス』公開。

平成13年 (2001) 『千と千尋の神隠し』公開。興行収入308億円の記録を樹立。

平成14年 (2002) 『有楽町マリオン』内の日本劇場、日劇東宝、日劇プラザが「日劇PLEX(後のTOHOシネマズ日劇)」としてオープン。他エリアもシネコン化が進む。

平成15年 (2003) 東宝がヴァージン・シネマズ・ジャパンを買収し、TOHOシネマズに社名変更。以後、業界再編が行われる。

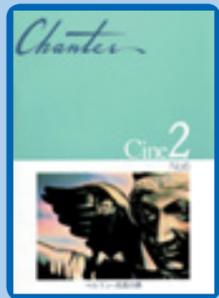
平成17年 (2005) 東宝会館の建て替えのため「日比谷映画」が閉館。71年間続いた日比谷映画の名称が消える。

平成22年 (2010) 1950~70年代の外国映画を上映する「午前10時の映画祭」初開催。全国を巡回し、往年の名画上映が話題になる。日比谷では翌年、『TOHOシネマズみゆき座』で上映。

平成30年 (2018) 『有楽町マリオン』内の「TOHOシネマズ日劇」が閉館。東京ミッドタウン日比谷に開業した『TOHOシネマズ日比谷』が旗艦館となる。エリア内の映画館は23スクリーンに。日比谷で『ゴジラ・フェス2018』も開催。

平成31年 (2019) 3月、前年公開の『ボヘミアン・ラプソディ』の興行収入が125億円突破。声を出して参加する応援上演も催され、国内の音楽・ミュージカル映画で歴代1位に。

※日本映画製作者連盟発表。2000年以降は配給収入ではなく、興行収入での発表となった。



『ベルリン・天使の詩』公開時のパンフレット。上映館の日比谷の「シャンテ・シネ」(現「TOHOシネマズシャンテ」)には多くの観客が殺到し、ミニシアターブームのきっかけとなった。



平成11年、『スター・ウォーズ エピソード1/ファントム・メナス』が公開され、コスプレをしたファンが「TOHOシネマズ日劇」に集合。ファンにとって、日劇は聖地的上映館だった。



「有楽町マリオン」の通称で親しまれる有楽町センタービル。館内の「TOHOシネマズ日劇」は平成30年、東京ミッドタウン日比谷内に「TOHOシネマズ日比谷」が開業するのに合わせて閉館した。



生誕50周年の平成16年、「ウォーク・オブ・フェーム」殿堂入りを賞されるゴジラ。平成30年からは日比谷が東京国際映画祭の会場となり、ゴジラ・フェス2018も開催。(TM & © TOHO CO., LTD.)



日比谷ゴジラスクエアのゴジラ像は、平成28年の『シン・ゴジラ』がベース(作中では東京駅などを破壊!)。平成7年に造られた旧ゴジラ像は「TOHOシネマズ日比谷」に移設された。

伝統が集う 丸の内

次の百年に伝わるであろう
新たな名作が続々誕生

丸の内に新たなランドマークが登場した。4年の歳月を経て開場したのは『東京商工会議所』『東京會館』『二重橋スクエア』の三位一体型高層ビル、『丸の内二重橋ビル』だ。

その一つ、『東京商工会議所』は、文明開化直後に欧米諸国の商工会議所制度を取り入れ設立された総合経済団体。広報部経済資料センターの渡邊浩江さんは「初代会頭が、貴賓が訪れた時に使える社交場として『東京會館』を、2代目が、宿として東京駅にステーションホテルを造ることを提言したと聞いています」と、話す。当時、二丁倫敦と

呼ばれたエリアの一角に赤れんが造りの商工会議所が立ち、ルネッサンス様式の『東京會館』『帝国劇場』が並んだ。「欧米視察で劇場とレストランが隣接する姿を見て、『帝国劇場』を訪れた人をもてなす場を作ろうとしたことが、『東京會館』誕生理由の一つです」と、『東京會館』広報の外岡慎平さん。

新生『東京會館』では、伝統と新しさを融合。次の百年に向けた試みが始まっている。新たに誕生したシヨコラテイエの手で本館限定スイーツを編み出したり、外部から招へいた松本浩之シェフが、名物の魚介料理をモダンな風味に昇華させたり。創建当時からあるチエコガラスきらめく大シャンデリアをはじめ、「1階の壁画は、2代目本館から受け継いだ猪熊弦一郎氏の作品。これに合わせてカーペットを選んだんですよ」と、数々の調度品が、息を吹き返したように飾られる。それ故に常連客には懐かしさを、若い世代には斬新な美しさを印象付けるのだろう。

界限には他にも、各地で伝統ある老舗が新ブランドで出店している。「Uma nuts」の大野聖子さんは「この街には、斬新で他にはないものを探している人が多いんです」と、出店理由を話す。伝統を礎に、未来の定番になるべく新たな試みが続ける。その精神こそが、丸の内の伝統なのかもしれない。



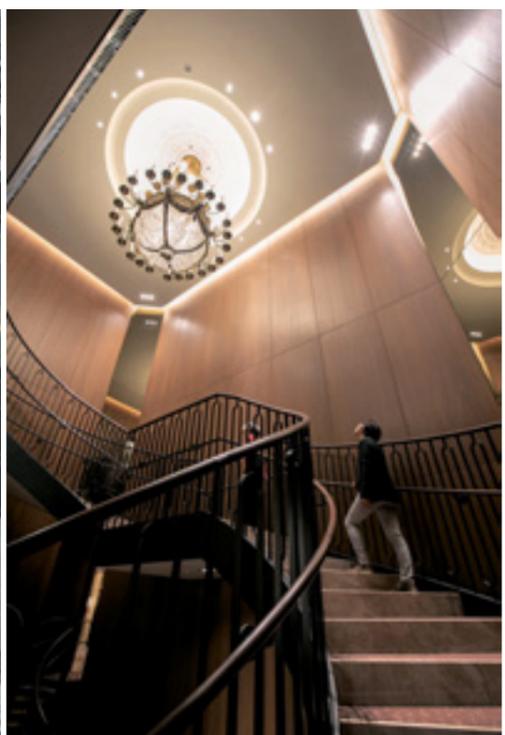
『東京會館』2階に飾られた初代本館の模型。その記憶を随所で復元。

『丸の内二重橋ビル』が 新たに登場

進化し続ける
格調高き社交場

東京會館

今年1月に新テーマ「NEW CLASSICS.」を掲げて3代目本館が開場。1922年(大正11)の創業以来のシンボルでもある大シャンデリアはらせん階段を照らし、初代本館に飾られた鉄製モチーフの復刻は玄関上部にあしらわれ、新たな形を作っている。また、レストランやショップにも、新たな試みが満載だ。◎二重橋前(丸の内)駅、有楽町駅、日比谷駅B5出口徒歩1分。千代田区丸の内3-2-1 ☎03・3215・2111 MAP P19



上質で落ち着いたレストラン街もオープン 二重橋スクエア

『東京會館』、『東京商工会議所』と共に誕生した「丸の内二重橋ビル」の商業ゾーン。「本物志向の大人のための、こだわりの空間」をコンセプトに、地下1階から地上2階にわたり、日本初出店、新業態を含むレストラン・カフェ、ショップなど25店が出店。◎二重橋前(丸の内)駅、有楽町駅、日比谷駅B5出口徒歩1分。11:00~23:00(日・祝日22:00)、無休(法定点検日を除く)。丸の内3-2-3 <https://www.marunouchi.com/> MAP P19



2つの舌平目の洋酒蒸
ボンファムを召し上がれ
RESTAURANT
PRUNIER
(東京會館)

日本初の鮮魚介料理店として1934年(昭和9)に創業したメインダイニング。伝統に新たな風を吹き込むべく、フランスの三つ星店で腕を磨いた松本浩之シェフを招へい。名物の舌平目の洋酒蒸ボンファムは、バターたっぷりの伝統レシピに加え、新レシピ(写真)も用意。ドライベルモットを効かせ、香り軽やかだ。トリュフをまとう平打ちパスタと。◎11:30~14:30LO・17:30~21:30LO(土・日・祝日は20:30LO)、月休。東京會館2F ☎050・3134・4890 MAP P19



手みやげにしたい「ひょうたんスイーツ」 SWEETS&GIFTS(東京會館)

末広りの形で古くから無病息災の縁起物・ひょうたんが、新たな名物に! シュー皮にクッキーをあしらったシュークリーム959円は、ザクザクと香ばしく、とろんと上品な甘みのカスタードクリームがぎゅっ。抹茶など季節限定の味も用意。シヨコラティエ特製のひょうたんシヨコラ3個入り1620円~もある。生菓子、パンが手に入るのは本館だけだ。◎10:00~20:00、無休。東京會館1F MAP P19



現在の丸の内へと導いた、
140年の礎をひもとく

東京商工会議所 Chamber's Gallery

文明開化直後の1878年(明治11)、日本で初めて設立された東京商法会議所が前身。初代会頭は渋沢栄一。27歳当時の等身大パネルが設置された小部屋では、渋沢と商工会議所関係の資料閲覧が可能。民間外交として渡米実業団長で活躍した姿(写真)なども見られる。◎二重橋前(丸の内)駅、有楽町駅、日比谷駅B5出口徒歩1分。9:30~16:30、土・日・祝日休。丸の内3-2-2丸の内二重橋ビル5F ☎03・3283・7690(経済資料センター) MAP P19





天然香料で調香した
和の香りに癒やされる
くんぎょくどう
薫玉堂 KITTLE丸の内店

1594年(文禄3)に京都の本願寺前で創業した日本最古の御香調進所。「丸の内1933」と名付けられた線香や、キャンドル、京都産純米吟醸の酒粕や京都産ユズなどを用いたハンドクリーム3240円など、上品なデザイン、風雅な香りに魅了される。男性や外国の方へも贈りたい。◎JR東京駅丸の内南口徒歩1分。11:00~21:00(日・祝日は20:00まで)、無休(KITTLEに準ずる)。
丸の内2-7-2 KITTLE 4F

☎03・6551・2630
MAP P19

伝統を踏襲して、 次世代へ 紡ぐものたち

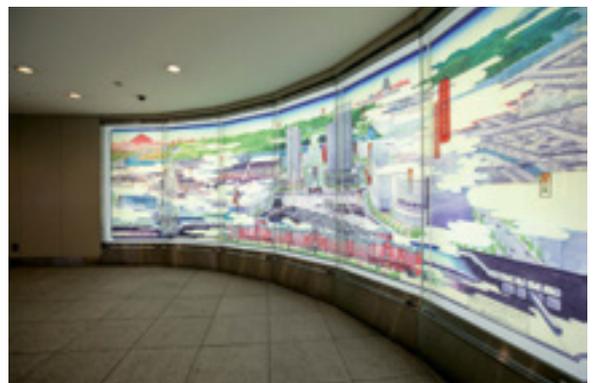
歯触りと香味に手がのびるモダンな豆菓子
ウマミナッツ
umami nuts

南国珍々豆など、鹿児島で人気の豆菓子メーカーが、新感覚の豆菓子店をオープン。熟練の職人が煎った豆は香ばしさと食感が絶妙で、レモンや黒糖、ボルチーニ、枕崎の本枯節などの香味も新鮮。銀色の丸缶もキュートで、手みやげに喜ばれている。手前からあまみ缶、さんみ缶、こくみ缶、各1080円。◎日比谷駅B4出口徒歩1分。11:00~19:00、無休。
丸の内3-1-1国際ビル1F ☎03・6273・4900
MAP P19

西洋式舞台が始まった
由緒ある地

帝劇ビル

日本初の本格的な西洋式劇場として1911年(明治44)竣工。現在の建物は、2代目「東京會館」本館と同じく谷口吉郎が設計し、1966年(昭和41)造。また、ビル1階のレストラン&ショップ入り口に、「帝国劇場の神様」と呼ばれる翁面が。旧帝国劇場では、舞台に向かって飾られていたもので、触るとチケット入手、芸道上達がかなうとか。◎地下鉄有楽町駅、日比谷駅B3出口直結。
丸の内3-1-1 ☎03・3287・0818
MAP P19



上野真理・作

歴史と現代を重ねた
きらびやかな絵図

丸の内歴史往来図

江戸時代の江戸城や武家屋敷、明治期から大正にかけての洋風建築、現代の高層ビル、過去・現在・未来の丸の内の歴史が時代を超えて交錯。信任状捧呈式の馬車列や、天下祭りなども緻密に描かれ、絢爛豪華たる錦絵のよう。こちらの副題は「丸の内名所再見・時空遊覧」。丸ビル・新丸ビル前の地下広場角地に、2007年に設置されたものだ。◎東京駅M9出口そば。
丸の内1-5付近 地下通路

MAP P19

未来に伝えるクラシカルな風情

東京駅丸の内駅舎

辰野金吾が設計し、6年の歳月をかけて建設した東京駅は、1914年(大正3)開業。戦災の復旧工事により2階建てになったが、2012年、開業時と同じ3階建てに復原された。往時を彷彿させる、赤れんがの駅舎は、ステーションホテルを備え、八支の彫刻が施された八角ドーム、天然スレートの屋根など、エレガントな風情。国指定の重要文化財だ。

◎JR東京駅丸の内中央口。丸の内1-9-1
MAP P19



言われてはじめて気付く、
マチの微細な魅力

東京

待ち合わせ
スポット(マニア) **編**

銀行の脇に鎮座する
牧歌的な黒い大黒様は
どんでん、なでるべし!

「三菱UFJ銀行新丸の内支店」玄関脇に、黒御影石の「さわり大黒」様が。1973年彫刻家・流政之(ながれ・まさゆき)氏の作で、なでると金運UPの御利益があるとか。ツルツルの触り心地で、人待ちの間になでまくれ。
MAP P26 A-2



数寄屋橋公園の奥で
異彩を放つ
芸術が爆発する
時計台



「八重洲地下街」センタースポットにいる「幸運の仔豚像」。フィレンツェのウフィツィ美術館第二廊下にある「猪」の模刻だ。フィレンツェ市場では鼻先をなでると幸運が訪れると人気に。ここでもお鼻はツルピカだ。
MAP P26 B-2

東京駅直結!
雑踏から抜け出して
緑に目が潤う隠れ家的
オアシスへ



四六時中人が行き交う東京駅では八重洲口駅前広場に隣接する「グランルーフ」2階デッキへ。四季を通じて緑が植え込まれた壁が続ぎ、ベンチが点在。ほっと一息つくテーブルも用意。ピアカフェなどもあり、一杯飲みながら待ちたい。
MAP P26 B-2

奇才・岡本太郎作の「若い時計台」が立つのは「数寄屋橋公園」奥。文字盤が顔、塔が胴体で、ツノのように噴き出すのは「情熱」だという。ほとぼしる情熱が伸びていく様が若々しい。夜は色とりどりに発光し、あやしく光ります。
MAP P26 C-1

鼻先ピツカピカ!
イタリアから
ヤエチカにやって来た
ブロンズ像

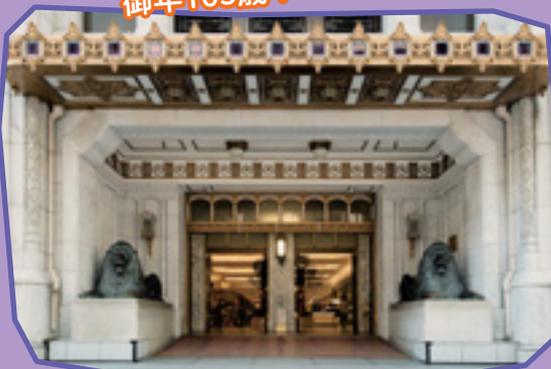


クラシカルな
赤れんがの中庭で
水音を聞きながら
待つひととき



1894年(明治27)建設の赤れんが造りの建物を復元した「三菱一号館美術館」と、高感度なショップやレストランがひしめく「丸の内ブリックスクエア」。その中庭となる「一号館広場」には噴水があり、緑らしい優雅な空間だ。
MAP P26 B-1

気品が漂う
2頭のライオン像は
御年105歳!



『日本橋三越本店』本館1階正面入口に、ゆったり座るライオン像は、1914年(大正3)に誕生。以来、三越のシンボルの存在だ。ロンドンのトラファルガー広場にある獅子像がモデルで、英国の彫刻家が鑄造した。
MAP P26 A-3

オフィスビルが
林立する大手町で
ひとときわ目立つ
巨大な朱色のオブジェ



近代的な高層ビルが立ち並ぶなか、「東京サンケイビル」前に立つのが鋼鉄製オブジェ。アレクサンダー・リーバーマンの作品「イリアッド・ジャパン」で、ざっくり斜めに切断された数々の円柱が、複雑に組み上がる。
MAP P26 A-2

数寄屋橋交差点、交番脇でしゃがみ込んでいる「はぐれっ子像」。後ろに「はぐれ櫻」が1本、少女を見守るように立つ。「地図をよく見て、道に迷わないように」とは、お巡りさんの弁。
MAP P26 C-1

人混みに入っても、
道に迷わないように
人生に迷わないように



文明開化とともに銀座の夜を照らしたガス灯。1874年(明治7)製の実物の灯柱に、復元灯具を付け、現代を照らす。その横には1922年(大正11)、アールデコ調の橋に架け直した京橋の親柱が。ここだけタイムスリップしたかのよう。
MAP P26 C-2



文明開化から
大正モダニズムへ
京橋を華やかに
彩った近代遺産